

令和8年度予算成立と 中東情勢の影響と対応策

山本左近の活動はこちら



H.P.

4月7日、**令和8年度予算が参議院本会議で可決・成立**しました。

本予算は、「責任ある積極財政」のもと、成長分野への投資や持続的な賃上げの実現、高校無償化による教育機会の拡充など、日本経済の「稼ぐ力」を強化する重要な予算です。これらの施策を支える大前提となる**エネルギーの安定供給が不可欠**です。

今回は、現在、世界が固唾をのんで注視する中東情勢と、私たちの生活に与える影響について、最新の動きを解説します。

《ホルムズ海峡の状況》

緊迫が続いていたアメリカとイランの関係に、一時的な緊張緩和の動きがありました。日本時間4月8日、トランプ米大統領は、「イランがホルムズ海峡を即時かつ安全に開放すること」を条件に、2週間の攻撃停止に合意したと発表しました。これに先立ち、イラン側もパキスタンの仲介を経て、同海峡の安全な通行を2週間認めの方針を示しました。しかしながら、1日もたたずイスラエルによるレバノンへの攻撃があり、再び封鎖される事態となりました。

世界の石油流通の要所であるホルムズ海峡は、船舶の通航が激減し、エネルギー価格1バレル110ドル台まで一時高騰し、私たちの生活に甚大な影響が出ています。

今回の停戦合意により、滞っていた原油輸送に一定のメドが立つと思った矢先の、再封鎖。

引き続き、日本として事態の沈静化に向けて粘り強く外交努力を進めていかなくてはなりません。

《破壊された生産拠点の復旧》

さらに問題なのは、これまでの軍事衝突によって、イラン国内や周辺地域の石油・ガスの生産施設が攻撃を受け、実際に損傷している点です。仮に海峡が再び通れるようになっていっても、供給側の力が落ちていけば、流通が元に戻るまでには時間がかかります。

また、製油所の火災や原油流出による環境への影響も深刻で、エネルギー安全保障は、量の確保だけでなく、インフラの復旧や環境対策も含めた複合的な課題となっています。

《今こそ「エネルギー自給」と「強靱な経済」を》

石油の中東依存度が極めて高い我が国において、**中東情勢は決して遠い国の出来事ではありません**。ホルムズ海峡の封鎖や生産拠点の破壊は、直ちにガソリン価格や電気代、ひいてはあらゆる物価へと跳ね返ってきます。足元を支える緊急的激変緩和措置に加えて、

今回成立した予算には、こうした外部リスクに強い経済構造を作る

ための施策も盛り込まれています。

1. エネルギー資源の多様化と省エネ投資・資源循環の加速化

中東情勢に左右されない国産クリーンエネルギーへの転換と、企業の省エネ設備導入を強力に支援。

2. サプライチェーンの強靱化

特定地域に依存しない物流・調達の構築を後押しし、国民生活を守る。

3. 外交による平和への働きかけ

日本は昔から中東諸国との信頼関係があり、恒久的な停戦と安定に向けた外交努力を継続。

《結びに》

世界情勢が激動する今こそ、現場の声を政治に反映し、皆様の暮らしと日本の将来を守り抜く決意のもと、**皆様からいただいたお声を自民党をはじめとする各種会議で意見を述べています**。

政府も、経済産業省や厚生労働省等が**イラン情勢に関する相談窓口**を設置し、対応を進めています。モータースポーツの世界で鍛えた「**刻々と変化する状況に即応する力**」を強みに、国政においても全力で取り組んでまいります。引き続き、皆様の声を国政に届けてまいります。

衆議院議員

山本左近



《やまもと・さこん》



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

中東情勢に関する政府相談窓口・支援策ガイド

中東情勢の悪化に伴い、日本の各省庁が設置した特設ページや相談窓口を整理し、事業者が適切な支援先に素早くアクセスできるようにする。

経済・エネルギー・中小企業向け支援

経済産業省「中東情勢関連対策ワンストップポータル」

エネルギーや製品供給に関する総合的な対策情報と相談窓口を集約しています。



中小企業庁による資金繰り・経営相談

政府系金融機関による対応を含め、中小企業・小規模事業者向けの支援策を案内。



資源エネルギー庁の石油製品等への対応

石油や天然ガスなどのエネルギー資源の安定供給に関する情報を発信しています。



産業別および安全情報の専門窓口

各産業特化型のポータル(国土交通・農林水産・環境)

輸送・建設(国土交通省)、農林水産(農水省)、廃棄物処理(環境省)の専用窓口。



厚生労働省：医薬品・医療機器の確保

中東情勢の影響を受ける医療物資の確保対策本部を設置し、供給を注視。



外務省「海外安全情報」とジェットロの分析

最新の現地安全情報や、ビジネスへの影響に関する専門的な調査・分析を提供。



主な窓口名称のクイックリスト



省庁名	主な窓口・ポータル名	対象分野
内閣官房	重要物資安定供給タスクフォース	供給網の安全確保
国土交通省	燃料油・石油製品等供給相談窓口	海運・陸運・建設等
環境省	中東情勢対策ポータル	廃棄物・動物取扱業等

開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



林養魚さんを視察させていただきました。HTF-RASという循環する環境の中で、サーモンの陸上養殖に挑戦されています。自民党農林水産副部長として、陸上養殖の現状と課題をヒアリング。さらに日本の強みとなるよう取り組んでまいります。



東田おやじの会主催
東田さくら祭り



母校である豊橋南高校のある
大清水さくら祭りにて、
大清水煙友会の皆様と



青果市場の現状や取り組み、
有事の際の防災拠点として活用な
ど多岐にわたって意見交換

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ